

4学年部会の様子(12月一斉授業研究会)

単元名

水害の過去から現在、そして未来へ
～Hさんとみる帷子川の治水対策～

本時は、子ども達の身近である帷子川の治水対策について治水事務所のHさんとの関わりから考えた。「帷子川では水害が減っているのになぜ何年もかけて対策を続けているのだろう」という学習問題を通して【対策は十分】【対策は必要】に分かれて話し合った。子ども達はノートに自分の意見をまとめており、とても積極的に話していた。

協議会では、本時目標と学習問題と学習活動にずれがあったので両方の意見をつなげたり、出した資料を深掘りして問い返したりするなどして「未来をみている」というゴールがあるとよかったのではということが話題になった。

